

## 屋久島の課題一覧(再整理)

山岳部利用のあり方検討会では、目的とする2つの将来像「①自然環境や利用体験への影響の回避、低減」と「②質の高い利用体験の提供」に向けて、基本理念・基本方針、ゾーン設定等を検討することを想定している。本資料では、2つの将来像を達成するために、対策・対応すべき課題を整理した。

## 将来像「①自然環境や利用体験への影響の回避、低減」

課題区分	内容
季節的な利用集中から発生する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文杉ルートへの利用集中</li> <li>・避難小屋の季節的な混雑</li> <li>・利用の集中箇所における休憩場所の不足</li> <li>・休憩場所不足による、周辺植生への影響</li> <li>・避難小屋に泊まれない人のテント泊による周辺植生への影響</li> <li>・縄文杉ルートや縄文杉周辺での、良好な雰囲気喪失</li> <li>・ゴールデンウィーク等に既存のトイレの混雑に加え、過剰な利用による故障</li> </ul>
恒常的な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木道・石積み歩道の老朽化</li> <li>・土砂流出、浸食等による登山道荒廃、周辺植生への影響</li> <li>・避難小屋のトイレの維持管理、し尿処理</li> <li>・避難小屋の修繕等</li> <li>・すれ違い当による、登山道周辺植生の衰退踏圧による根の露出や、侵食の拡大</li> <li>・携帯トイレ導入にともなう利用の推進と、普及状況</li> <li>・新たなルート開拓（踏み分け道）と、登山道以外での遭難</li> </ul>

## 将来像「②質の高い利用体験の提供」

課題区分	内容
施設等の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標識の老朽化、同一機能の標識撤去、統一化</li> </ul>
利用等の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力不足による安易な登山、遭難発生</li> <li>・利用体験の質の低下</li> <li>・利用者レベルとルートやコースの不一致による山岳事故の発生</li> <li>・ゴミの投棄</li> </ul>

平成28年～30年での  
検討内容

- (1) 山岳部利用に関する基本理念及び基本方針に関する事項  
 (2) 利用に関するゾーンの設定及びゾーンごとの目標(提供する利用体験の質、想定する利用者レベル等)に関する事項

※屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会 設置要綱より